

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

2-①

施策

くらしき文化, 芸術活動を振興する

担当部局

文化産業局, 教育委員会, 市長公室

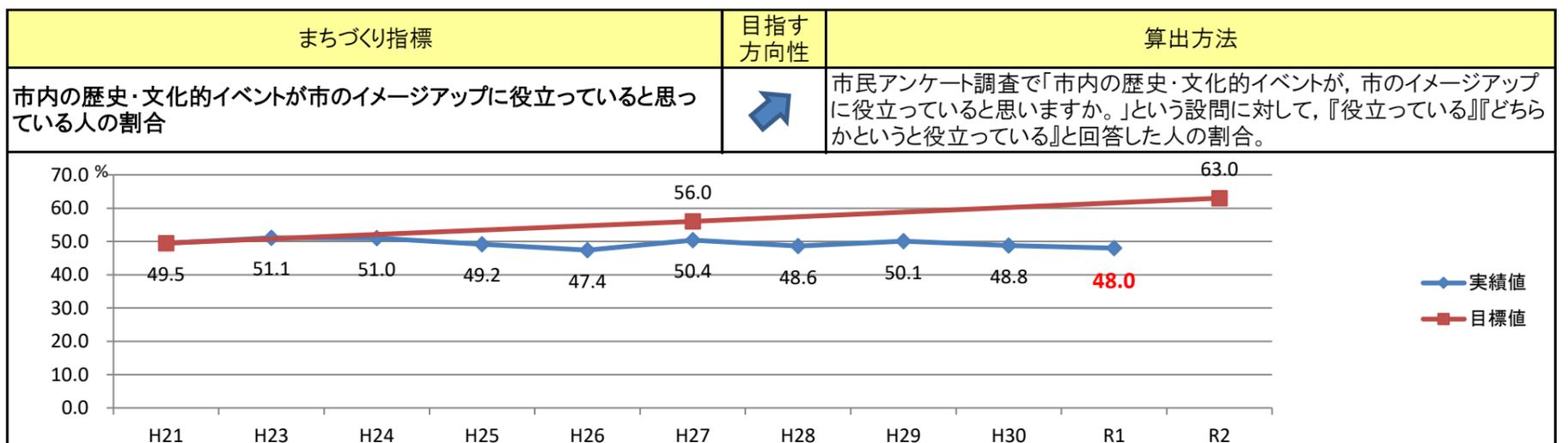
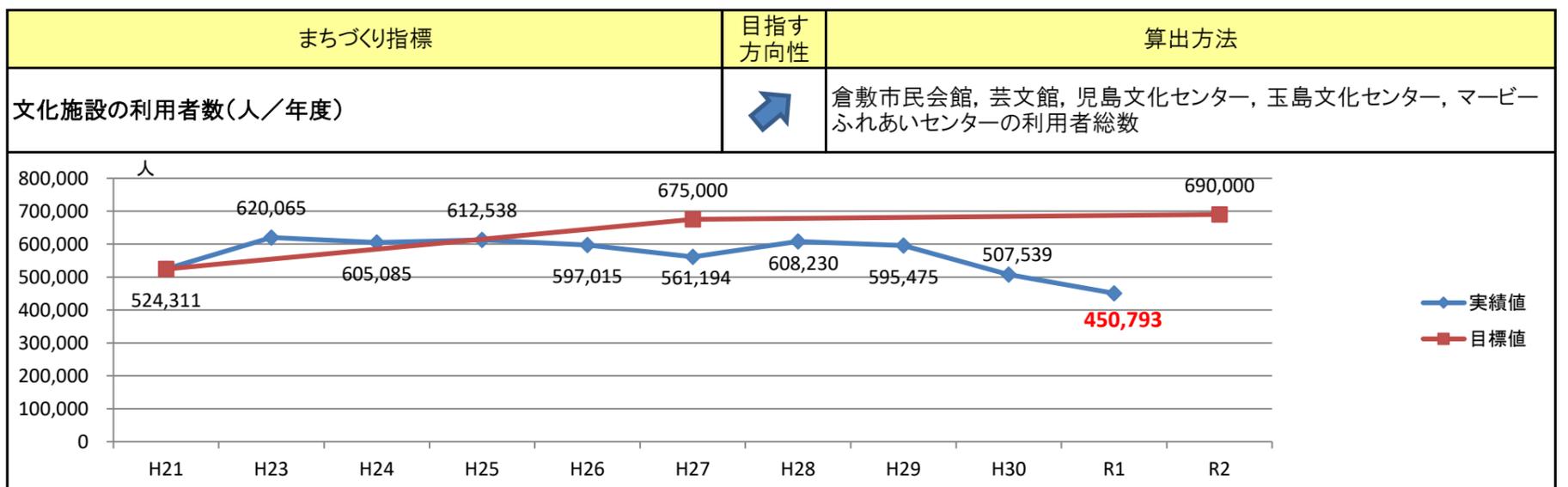
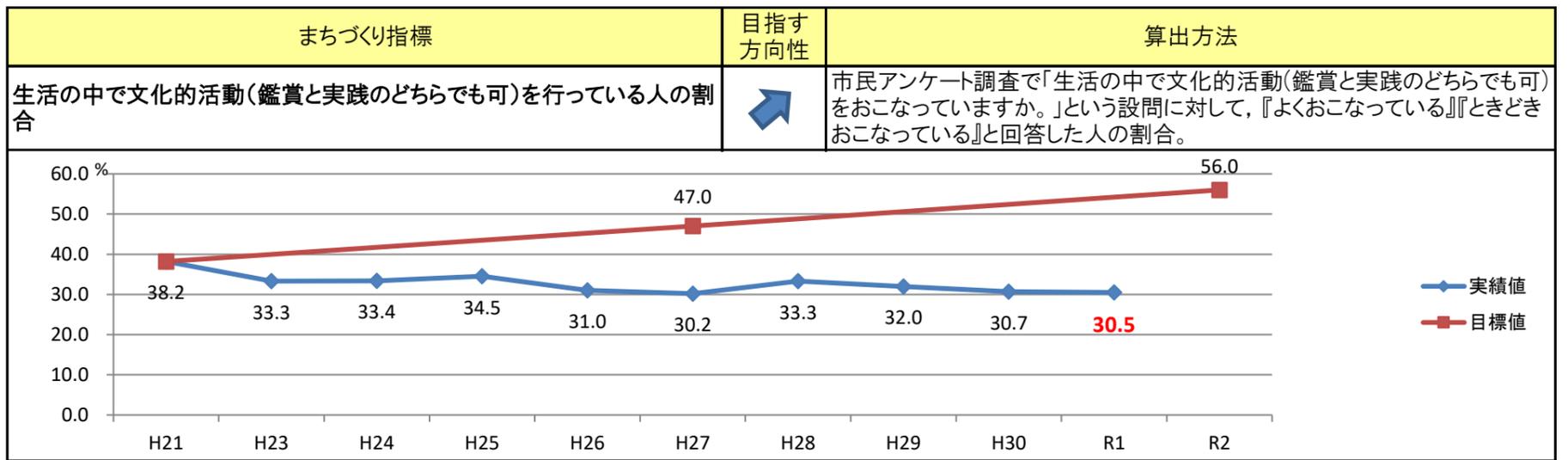


【豊か】めざまちの姿 生活の中に個性的で魅力的な文化が息づいている

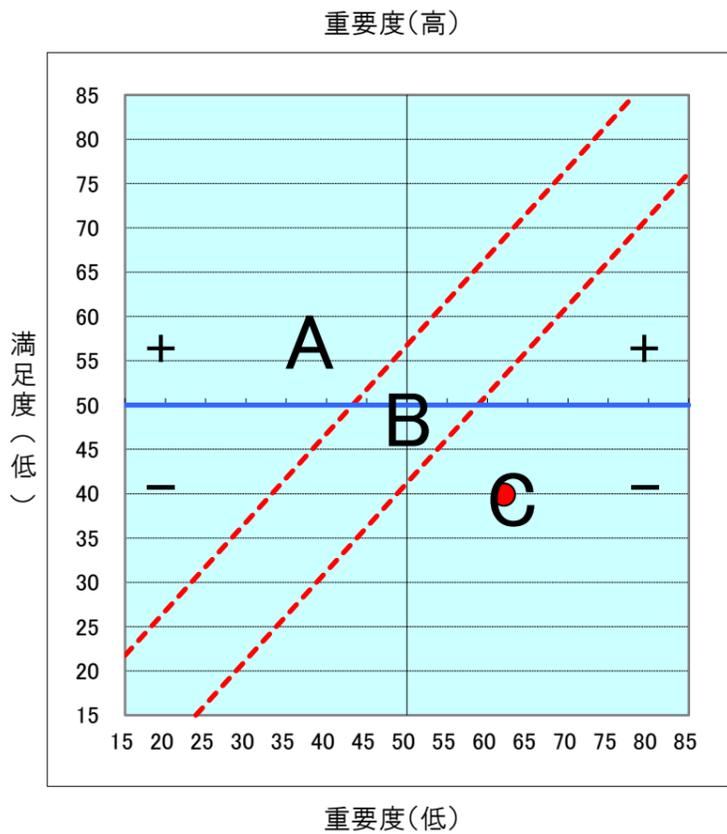
市の基本方針

- 子どもから高齢者まですべての市民に、音楽・演劇・舞踊・美術などさまざまな分野において、優れた文化芸術にふれる機会の提供に努めます。
- 市民が身近に文化活動に参加・発表することのできる環境づくりを進めるとともに、さまざまな文化芸術団体相互間の交流の機会を提供します。
- 文化芸術に関する情報を蓄積し、ホームページなどでわかりやすく、タイムリーに発信できる環境を整備するとともに、個性的で多様な「くらしき文化」を国内外へ向けて積極的に発信します。
- 鑑賞, 発表, 創作, 練習など, 市民の文化芸術活動を支える場となる本市の文化施設の機能・設備を充実させ, 利用しやすい施設運営に努めます。

数値目標



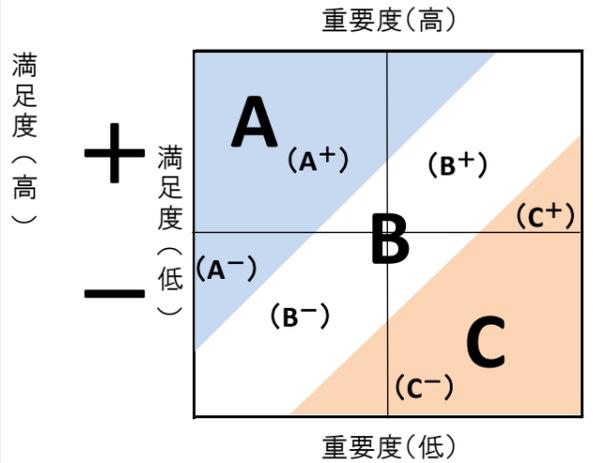
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C ⁻	39.88	62.06

●重要度に見合う以上の満足度が得られている(C)
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



A:重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B:重要度に見合った満足度が得られている領域
 C:重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +:重要度が平均値より高い部分
 -:重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺:重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)／令和元年度の主な実績(II)／今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
	展覧会事業	(I) 優れた美術作品を鑑賞する機会を広く市民に提供することにより、市民の美術に関する知識及び教養の向上に資することを目的に実施した。 (II) 「高橋秀+藤田桜-素敵なふたり」展など4回の特別展と5回のコレクション展を開催した。(総観覧者数28,995人) (III) より多くの市民に鑑賞していただけるよう企画内容を検討し、広報に力を入れ、継続して実施する。	13,196
	美術作品収集活動事業	(I) 郷土作家等の作品を収集することで、市民共通の財産である貴重な美術作品を次世代に伝えていくことを目的に実施した。 (II) 郷土ゆかりの岡野耕三ら11作家23件(寄贈22件,管理替1件)を収集した。岡本暉生や武内晴二郎等は初めて収蔵する作家で、油彩画、日本画、陶芸など様々なジャンルの作品により、コレクションの充実につながった。 (III) 郷土作家の体系的なコレクションづくりを目指して作品調査を行い、継続して実施する。	592
	美術館教育普及事業	(I) 多くの市民に美術に親しんでもらうため、各種実技講座やワークショップをはじめとする制作体験やギャラリートークなどの理論学習を行う機会を提供し、美術はもとより広く芸術の普及に努めることを目的に実施した。 (II) 初心者対象の講座を中心に実技講座を7講座実施したほか、「素敵な紙版画をつくろう！」などのワークショップや、美術教養講座などを開催した。(参加総数6,437人) (III) 開催中の展覧会の内容に沿ったテーマでの講演会や身近な素材でのワークショップなど、市民の参加意欲が高まるような内容の企画となるよう、継続して実施する。	3,019
	倉敷市文化章表彰事業	(I) 文化の向上発展に関して功績があった者に対し、その功績を称え、表彰することを目的に実施した。 (II) 文化の向上発展に関して功績があった者(1人)に対し、文化章を贈呈した。 (III) 継続して実施する。	690
	文化活動支援事業	(I) 市民の文化芸術活動を支援し、文化芸術の振興を図ることを目的に実施した。 (II) 市民茶会、市民民謡まつり、ジュニア伝統芸能祭などの倉敷市文化連盟の活動(入場者約8,000人)に対する支援など市民の文化活動を支援した。また、学区文化祭(延べ30学区5,749人参加)の活動を支援した。 (III) 各支援のあり方等について検討を行いながら、継続して実施する。	22,481
	倉敷っ子美術展事業	(I) 次代を担う子どもたちの豊かな創造力と情操を養い、造形活動を支援するとともに、子どもたちの造形活動に対する市民の理解と認識を深めることを目的に実施した。 (II) 市内の小中学生の作品を展示する第34回倉敷っ子美術展(令和2年1月31日~2月16日)を開催した。(出品点数9,458点,観覧者数7,177人) (III) さらに多くの保護者や一般市民に鑑賞してもらえるよう広報に力を入れ、継続して実施する。	515
	(公財)倉敷市文化振興財団運営事業	(I) 市民文化を振興するとともに、くらしき文化を全国に発信することを目的に、文化芸術の実施団体である(公財)倉敷市文化振興財団の運営する事業を補助した。 (II) 大山名人杯倉敷藤花戦、大山名人杯争奪全国小学生倉敷王将戦、くらしき吉備真備杯こども棋聖戦、春の院展・倉敷展など42事業を開催した。(入場者数及び参加者数約38,000人) (III) 継続して実施していくが、さらに市民文化・地域文化を振興し、また、全国発信につながるよう財団と事業内容を検討する。	238,078

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
	美術館広報活動事業	(Ⅰ) より多くの市民に美術館の展覧会や所蔵品についての情報を提供することを目的に実施した。 (Ⅱ) 展覧会や講演会, ワークショップなどの情報を掲載した催しもの案内を月1回作成・配布するほか, ホームページで情報提供した。 (Ⅲ) より多くの方々に美術館に関心を持って美術に親しんでいただくため, ホームページに英文表記を追加したり, 作品解説を掲載するなど効果的な方法を検討しながら継続して実施する。	490
	文化施設管理運営事業	(Ⅰ) 市民の文化活動を支える場である文化施設の機能, 設備を充実させ, 利用しやすい施設運営を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 指定管理者制度により, 文化施設(倉敷市民会館, 芸文館, 児島文化センター, 玉島文化センター, 文化交流会館, 大山名人記念館)の管理運営を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	317,794